

免許状教科	中学校社会、高等学校地歴・公民・商業 必修		
科目名	日本国憲法	科目分類	教職科目
			経済学科 ■必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	The Constitution of Japan	開講年次	■ 1 年 □ 2 年 □ 3 年 □ 4 年
ふりがな	わたなべ たけし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中
担当者名	渡 部 毅	修得単位	2 単位
授業のテーマ	憲法とはどのような法か、人権とは何か、人権を保障するための政治のしくみはどうなっているかを理解する。		
授業概要	日本国憲法の成立過程、基本原理、人権の保障、統治機構などについて、基本的な枠組みを説明します。		
到達目標	日本国憲法の全体構造を把握し、説明できる。		
授業時間外の学習	新聞を継続的に読みましょう。社会や政治の動きに敏感になりましょう。高等学校で学習した「現代社会」や「政治・経済」の教科書の憲法に関して記述している部分は、内容が平易かつコンパクトにまとまっていますので、適宜、振り返って眺めてみると、学習の助けになります。		
履修条件	特にありませんが、目的意識を持って学習してください。		
授業計画			
第 1 回	憲法とは何か（憲法の意義・分類）		
第 2 回	大日本帝国憲法の概要		
第 3 回	日本国憲法の成立		
第 4 回	国民主権と天皇制		
第 5 回	権力分立制		
第 6 回	基本的人権の歴史		
第 7 回	基本的人権の体系		
第 8 回	人権の享有主体		
第 9 回	幸福追求権		
第 10 回	法の下での平等		
第 11 回	精神的自由		
第 12 回	経済的自由		
第 13 回	人身の自由		
第 14 回	国務請求権・参政権		
第 15 回	社会国家と社会権		
第 16 回	定期試験		
テキスト	古田重明 他 『新版現代法学』（八千代出版・2011 年）。		
参考文献・資料	小型の六法等で条文を適宜参照のこと。高等学校で使った「現代社会」や「政治・経済」の教科書。		
成績評価の方法	試験の成績（80%）、受講態度（20%）。3 分の 1（5 回）以上欠席した場合には、試験を受けることができません。		
成績評価基準	【平成 2 7 年度（2 0 1 5）以前に入学した学生】 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) 【平成 2 8 年度（2 0 1 6）以降入学した学生】 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)		
オフィスアワー	水曜日 9 時～10 時。金曜日 13 時～14 時。		

学生への メッセージ	日本国憲法は、世界の憲法の中でもきわめて優れた憲法であることに気づいてもらえるような授業をしたいと思います。社会のさまざまな現象を、憲法を通してみる力を養うことができるところまで頑張りました。
---------------	--